

実地医家画像診断協力推進協会
(Practitioner's Association for Medical Imaging Collaboration : PAMIC)

入会のご案内

実地医家の先生方と放射線科専門医との間に日常的な協力関係を構築し、先生方に安心して日常の診療に当たっていただけるよう、実地医家画像診断協力推進協会(Practitioner's Association for Medical Imaging Collaboration : PAMIC:ピー・エイ・エム・アイ・シー)をする設立することに致しました。ご入会をお待ちしています。会の内容は別紙のごとくです。

日々の診療に安心をお届けします

次の三項目について単純写真読影に精通したベテランの放射線科医が先生と相互協力のもとでご支援いたします。

- 1 読影支援
- 2 撮影装置の有効利用支援
- 3 画像のデジタル保管支援

X線検査の診断を放射線科医と共有する安心

X線写真の読影について、お一人で迷っておられませんか？

どんなにベテランの呼吸器内科医でも単純写真では肺炎を見落とします。どんなにベテランの整形外科医でも骨折を見落とします。単純写真で絶対に肺炎は存在しない、絶対に骨折は存在しないと確信を持って言い切れたことがあるでしょうか？

放射線科医は胸部のCTや骨のMRI等で、常に単純写真読影の結果を検証していますが、どこまで単純写真で見えるかの限界はかなりあやふやです。しかしながら私どもはそれなりの基準を持って読影しています。おたがいにそれをつきあわせてみませんか？ 読影責任を第三者の放射線科医と共有してみませんか？

診療情報の増加による安心

撮影装置が有効に使われていますか？

一週間に一回胸部写真を撮影を行うぐらいしか装置を使っていないと言うことはありませんか？ 現像液もどんどん悪くなって画像は益々悪くなります。もっとどんどん単純写真は撮って下さい。単純撮影の被曝はCTや造影検査と比較すれば、ごく

わずかです。単純写真の大きな目的は、重要な疾患の可能性を否定することです。それが実地医家にとって最も重要な役割ではないでしょうか。どのような場合にどのような撮影法が適応となるか、その読影を含めてご支援いたします。

診療情報の信頼性の向上による安心 患者様の過去の画像が直ぐに取り出せますか？

単純写真の診断能は、過去の写真との比較で、考えられないほど高くなります。我が国では過去写真との比較がとてもしゃんじられています。安易に CT や MR 検査が行われるのもこのためでもあります。画像診断で過去画像との比較は不可欠であり、世界中の医療機関で最もお金をかけているのはこの部分です。我が国の法律上は3年間ただとておけばよいことになっていますが、それは検査を行ってそのお代を戴いた証拠を残しておくだけのためであって、良い医療のためではありません。読影の精度の向上を考えれば、患者様個人名義で一生保管すべきであり、どこの医療機関でもいつでも利用可能でなければ意味がありません。画像を保管し、管理することで、どこでも過去画像を瞬時に見られるようご支援いたします。貴院の画像も将来大いに役立つはずです。貴院を受診された患者様の過去の写真も、他の医療機関で撮影されたものであっても直ぐに比較が出来るようなシステムを患者様とともに作りましょう。

入会によって得られるサービス内容

1 X線撮影装置の有効利用について

まず、先生がどのような装置をどのような形でお使いになっているかを、現場で見させていただきます。原則として、まず胸部の正側二方向撮影と、腹部の仰臥位と立位の撮影が、いつでも出来るような設定を、現像機など周辺機器も含めて貴院での撮影方法、条件などの設定をさせていただきます。

場合によっては、骨や頭部の撮影のご指導も致します。

2 読影について

読影はご希望により、一次読影か二次読影かを症例ごとに選択していただきます。一次読影とは、先生は全く読影を行わずに、撮影された写真をそのままこちらへお送りいただく方法です。CTやMRでは良く行われている方法です。患者様に関する情報を検査目的も含めて写真とともにお送り戴き、当方で読影し、報告書を差し上げます。

二次読影の場合には、まず先生に読影していただき、その結果はカルテにご記載願います。患者様に関する検査目的も含めた情報と同時に、用意された読影チャートに先生の読影結果をご記入いただき、写真とともにお送りいただき、当方で読影しますが、先生の読影結果に沿ってご意見を申し上げさせていただきます。疑問をもたれた所見に対する、私共の意見を申し上げます。必ずしも、私共の方が正しいとは限りませんが、年間10000枚以上単純写真やCT、MRなどを読影している経験から、申し上げさせていただきます、先生と読影責任を共有させていただきたいと考えております。

3 情報の授受について

基本的なシステムとして、先生の診療所にインターネットの環境を作らせていただきます。パソコンと高精細モニターを設置させていただきます、私どものコントロールセンターと接続させていただきます。特殊な装置を使用しますので、機密保持を含めた安全対策は万全です。先生がCR(コンピュータ・ラジオグラフィ)のシステムを保有されている場合には、このシステムを用いて直接コントロールセンターへ画像を送付していただけるよう設定いたします。

患者様の情報の授受については、インターネット経由でコンピュータの画面上でも行えるよう設定いたしますが、専用の用紙もご用意いたしますので、その用紙にご記入の

上、フィルムとともに専用の封筒でお送りいただいても結構です。

読影の結果と先生がお送りになられた画像は高精細モニター上でいつでも観察可能となります。先生の診療所の患者様のみのリストが作成され、過去の画像も含めて、常に観察が可能となります。

当システムは通常のパーソナルコンピュータ(パソコン)として、使用可能であり、インターネットや電子メールにも使用できます。また電子カルテ用としても使用できますので、近い将来低価格で使いやすい電子カルテの提供も計画いたしておりますのでご期待下さい。

また現在医療事務コンピュータ(医事コン・レセコン)をご使用の場合には、そのシステムと接続可能かどうか検討させていただき、出来る限り患者様のデータなどは一回入力すれば済むよう検討させていただきます。相手のシステムによって別途費用が発生する可能性がありますので、ご相談させていただきます。

4 X線写真の授受と保管

専用の封筒を用意いたしており、その封筒で写真をお送りいただきます。コントロールセンターへ直接ご送付いただき、一次読影希望分につきましては、フィルムを直接読影後に画像をデジタル化し、サーバへ保管いたします。二次読影希望分につきましては、デジタル化しサーバへ保管後に高精細モニターで読影致します。現時点ではフィルムからのデジタル化画像が一次読影として、公式に認められるかどうか不明瞭なところがあり、混乱を避けるためにこのような手段を採らせていただきます。

5 撮影及び読影支援サービスについて

患者様の状況に即した撮影方法と撮影条件が、先生の保有される装置のものとしてコンピュータ画面上で表示できるようなシステムを入れさせていただきます。

読影に当たっては、特製の読影チャートを用いて読影していただきます。コンピュータ画面上で行うと簡単に出来ますが、専用用紙でも結構です。コンピュータ画面上で行う場合には、読影のガイダンスと実例を参照することが出来ます。

これらのサービスにつきましては、暫時準備が整い次第ご使用いただけるよう誠心誠意作成中であります。

6 画像保管サービスについて

フィルムの保管を希望される場合には、株式会社エム・エス・アイが契約している特

別の倉庫にて有料にて保管いたします。

読影依頼のあった画像のデジタル保管については、月額基本料金と件数換算読影料金に含まれます。

他院の画像検査データについてはご希望があれば別途デジタル化し保管いたします。患者様ご本人のご負担で、医療画像データバンクとしてご利用いただけるようご推奨下さい。画像データはいつでもどこにでもご希望に応じてCDRの形で患者様ご本人へ有料でご送付いたします。先生の施設ではインターネットを通して、コンピュータで患者様の全てのデータは常に一つにまとめたリストとして観察可能です。患者様のデータバンクのご利用申込書、解説書、および画像検査のデータ貸し出し依頼書等は先生の診療所に常備していただき、ご利用いただけるようにいたします。

7 関連施設との連携サービス

現在国策として病診連携が推進されており、多くの基幹病院が画像診断についての病診連携に対応するシステムを導入しつつあります。今回のシステムはブラウザ(インターネット)で稼働するシステムであれば、接続連携が可能となっております。関連施設との連携について、可能な限りご支援いたします。

収支関係

収入の部

1 単純写真の保険点数

胸部単純X線撮影正側2枚撮影もしくは腹部単純X線撮影立位仰臥位2枚撮影で、撮影料98点、読影料128点で、合計226点です。フィルム代金は、半切フィルム164円、大角フィルム134円です。

私ども画像診断を専門とするものとして、単純写真の読影には最低上記の2枚の撮影が必要です。X線被曝については、十分に患者様に説明し、納得を得た上で、撮影してください。説明用の資料を用意いたしますのでご利用下さい。

2 撮影件数の増加

検査の適応のチャートをコンピュータの画面上で検索し得るように致します。患者様の主訴、状態をから単純写真撮影の適応の有無が表示されます。それをプリントアウトして、カルテに添付しておいて下さい。またレセプト審査で万が一返戻のあった場合には、当方へご連絡下さい。検討のうえ適切に対処させていただきます。

これにより、検査件数が飛躍的に増加することが見込まれます。単純写真の最も大きな目的は、除外診断です。診療所で最も重要な診療目的は、重篤な疾患の可能性を除外することです。単純写真の情報に基づいて安心して除外診断を行ってください。また重篤な疾患を見つけたり、その可能性を疑った場合には、直ちに二次もしくは三次医療施設をご紹介下さい。画像と報告書は直ぐにプリントアウトして、患者様にご利用いただけます。

また先生ご自身が読影責任を私共と共有することにより、安心して検査を実施することが可能となり、読影に不慣れな部位の検査も積極的に行っていただける結果大幅な検査数の増加が見込まれます。

3 患者様へのサービスの向上

先生の診療所で行われた全てのX線検査のデータが患者様の目の前で、お見せすることが出来、患者様への説明も容易になります。患者様に、単純写真読影の協力者として私共の名前をお使いになられて結構です。私のホームページ(<http://www.futureme.jp/clinic.html>)をご覧いただければ分かりますが、私のクリニック

で、患者様が写真をご持参になってご相談された場合には、自費診療で 15000 円を申し受けております。先生の診療所で同じ説明を無料で受けられると申し上げていただいて結構です。私のクリニックの本来の目的は、患者様に直接お話をすることではなく、実地医家の先生のお役に立つことです。

支出の部

- 1 初期設置費用
- 2 月額基本料金
- 3 月払い実費負担(読影料+データ処理・保管料)
- 4 (郵送料:フィルム郵送の場合)